



2021年11月12日

報道関係各位

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社
日本アイ・ビー・エム株式会社

CTCと日本IBM、ハイブリッドクラウドサービス事業で戦略的パートナーシップを拡大
高度化・多様化が進むハイブリッドクラウド環境のインテグレーションとマネージドサービスの進化を推進

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社(代表取締役社長: 柘植 一郎、本社: 東京都港区、以下: CTC)と、日本アイ・ビー・エム株式会社(代表取締役社長: 山口 明夫、本社: 東京都中央区、以下: 日本IBM)は、CTCのクラウド分野におけるサービスラインアップの拡充や事業拡大を目的に、戦略的パートナーシップを強化する予定です。

近年、各企業では、企業活動のデジタル化による競争力強化を目的に、自社で所有するITインフラを、共有利用型のパブリッククラウドや専有利用型のホステッドプライベートクラウドなどと組み合わせて実現する、ハイブリッドクラウド環境への移行や、コンテナ基盤を活用してアプリケーションのクラウド化を進める動きが活発化しています。必要となる機能やサービスは多様化しており、エンタープライズ品質で組み合わせ、コンプライアンスに準拠したセキュアな運用を含めた高品質なサービスの提供が求められています。一方、技術革新のスピードや求められる対応範囲の広さ及び深さの点から、一企業が単独で全てを実現することが難しくなっており、企業間の連携によるサービス拡充が必要です。

CTCでは、ITインフラへの多種多様化するお客様のニーズや課題に対して、ハイブリッドクラウド環境を継続的に最適化して提供するサービス群を「OneCUVIC」というブランド名称で展開しており、各サービスの強化を進めています。

特に注力する取り組みとして以下の4点を進めており、今回予定しているパートナーシップ拡大もその一つです。

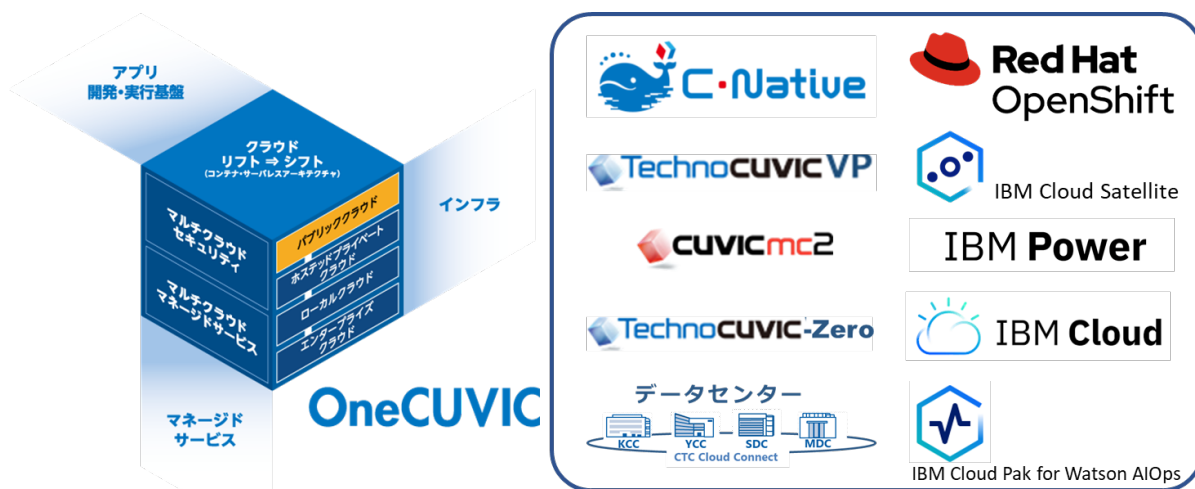
1. CTCオリジナルのホステッドクラウドサービス CUVIC(キュービック)シリーズの機能拡充と提供範囲の拡大
2. パブリッククラウドのお客様提供価値の強化とユーザー企業の利便性向上
3. 従来型データセンターからハイパースケール型データセンターへの刷新
4. 複雑化・高度化するハイブリッドクラウド・マルチクラウドの統合状態監視(オペレーション、セキュリティ、省エネルギーの可視化)

今回のパートナーシップにおいて、CTC と日本 IBM は両社のサービスを組み合わせ、CTC のクラウド及びマネージドサービス「OneCUVIC」を拡充し、強化することを検討していきます。具体的には、①IT インフラ利用型サービス、②アプリケーションのモダナイズ化を支える基盤サービス、③マルチクラウドインテグレーション及びマネージドサービス、④マルチクラウド環境下におけるマネージドセキュリティサービスの 4 つの分野でサービスを拡充することで IT インフラのクラウド適用とアプリケーションのクラウド化を加速させ、企業のデジタルトランスフォーメーション(DX)への貢献を目指します。

両社が組み合わせを検討するサービス・プロダクトは、CTC オリジナルの高品質なホステッドプライベートクラウドである CUVIC シリーズをはじめ、CTC データセンターサービス、CTC マルチクラウドマネージドサービス、CTC C-Native サービス、IBM Cloud、IBM Power、IBM Cloud Satellite、Red Hat OpenShift、IBM Cloud Pak for Watson AIOps に代表される各種ミドルウェア等です。

今回の取り組みにより、現在 3 つのデータセンターから提供している CTC の CUVIC シリーズは、第 4・第 5(東日本・西日本)のデータセンターを加えて、IBM Cloudと繋がります。全世界 60 拠点以上に展開するデータセンターネットワーク上の IBM Cloud を利用して両社のビジネスを拡大していきます。

<OneCUVIC イメージ>



<One CUVIC の注力ポイント>

①IT インフラ利用型サービス	基盤デプロイスピード、構成種類、分散クラウド時代を見据えた設置場所などの多様性・柔軟性の向上
	基幹システムが求める性能要件に応える、HW による仮想化制御、大容量メモリー構成への対応による性能の向上
②アプリケーションのモダナイズ化を支える基盤サービス	コンテナライズされたアプリケーションの開発及び実行基盤機能の実装
	XaaS: 様々なファンクションサービスの拡張。(例: 在宅ワーク向け VDI、AI、自動化など)
③マルチクラウドインテグレーション&マネージドサービス	CUVIC や各種パブリッククラウド(AWS、Azure、GCP など)のインテグレーションサービス(設計・構築・実装)の拡充
	マルチクラウド環境下における、ワンストップ運用サービスの拡充
④マルチクラウド環境下におけるマネージドセキュリティサービス	マルチクラウド環境下の IT インフラへの脅威を検知、対策を行うセキュリティ監視、インシデント対応サービスの拡充
	お客様のアプリケーションやサービスへの脅威を予兆・防御するアプリケーションマネージドサービスの拡充

今回の戦略的パートナーシップの拡大により、企業の情報システム部門が保有するミッションクリティカルなシステムのインフラに適したホステッドプライベートクラウドである CUVIC や、AWS、Azure、GCP などのパブリッククラウドのインテグレーションやマネージドサービスに強みを持つ CTC と、オープン・ハイブリッドクラウド・テクノロジーを基本に構成されたセキュアなビジネス向けのパブリッククラウドである IBM Cloud、性能・品質面で高い実績がある IBM Power、マルチクラウド・コンテナ・プラットフォームのリーダーである Red Hat OpenShift などに強みを持つ日本 IBM は、今後、高品質でセキュアなサービスで、お客様企業の DX を支援していくことを目指します。

また CTC では、今回の取り組みのほか、今後積極的にサービスを展開することにより、「OneCUVIC」クラウドサービス事業を今後 4 年間で約 650 億円規模へ拡大することを目指します。

■CTC について

CTC は、通信、放送、製造、金融、流通・小売、公共・公益、ライフサイエンス、科学・工学等の全ての分野で、お客様のパートナーとなるシステムインテグレータです。先進的な IT ベンダーとのリレーションによる確かな技術力と充実したサポート体制で DX ソリューションやクラウドサービスなどの IT サービスを最適に組み合わせ、お客様のビジネスに貢献していきます。

■ 日本 IBM について

日本 IBM は、世界 175 カ国以上でビジネスを展開する IBM コーポレーションの日本法人で、基礎研究をはじめ、ビジネス・コンサルティングから、IT システムの構築、保守まで一貫したサービスの提供や、先進的でより高付加価値なハイブリッドクラウドや AI ソリューションの提供を通じて、お客様の企業変革や DX を支援しています。

※記載されているサービス名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

※Red Hat は、米国およびその他の国における Red Hat, Inc.およびその子会社の商標または登録商標です。

※掲載されている情報は、発表日現在の情報です。最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。

以上

<報道機関からのお問い合わせ先>
伊藤忠テクノソリューションズ株式会社
広報部
E-mail: press@ctc-g.co.jp

日本アイ・ビー・エム株式会社
広報
E-mail: pressrel@jp.ibm.com